

緊張しました…初質問！

県議会議員になって、初の定例議会が6月14日から始まりました。民主県民クラブでは全議員が質問に立ち、私も初の一般質問に臨みました。私の一般質問の順番は議員の中で一番最後。散々先輩議員が質問した後で恥ずかしながら質問をさせていただきました。お忙しい中傍聴にお越し下さった皆様、本当にありがとうございました。この日の為に、何週間も前から準備を重ね、与えられた30分の時間をフルに使って質問をさせていただきました。今回、私が一般質問で尋ねた項目は、大きく分けて次の通りです。

- ① 東日本大震災と地域防災について
 - ② 障害者自立支援法の対象外となっている軽度・中等度の難聴児への支援について
 - ③ 大学生の就職と定住化について
 - ④ 緊急雇用創出事業について
 - ⑤ 大型観光事業、神々の国しまねプロジェクトについて
- 執行部の答弁は丁寧ですが、あまりすっきりとした答弁はなく、継続して訴えていくことの必要性を感じました。
- 一般質問は複数の問いを一度に投げかけ、答弁も一度に答える形なので、傍聴されていた方々にはわかり難かったかと思います。今後傍聴されている皆様にも分かりやすい資料提供が出来るのか、議会事務局と交渉を行っています。

Q. 知事の防災に対する基本的な考え方と、東日本大震災を目的としたりする中で考え方を変えられた部分があったか伺う。

A. (知事) 防波堤など施設の整備や対策をとられてきて、一定の効果はあったが万全ではない。万が一の事が起きたとしてもしっかりと対応が築かれていくという事が大切だと痛切に感じる。避難航路がある程度我々の頭の中にあるという事が被害を少なくするという事に大変大切だと感じる。

Q. 原子力発電所から半径20キロが避難対象となった場合、オフサイトセンターをどういった条件地に置くべきと考えるか伺う。

A. (知事) オフサイトセンターの場所を最終的に決めるのは国だが、県や市の組織とある程度近い所にあるのは当然だと考える。仮に何か起こったら県庁の移転先も考えなければならず、オフサイトセンターの場所等の検討についても併せて県の防災対策本部の各分野で一応の準備を始めている。

Q. 軽・中度の聴覚障がい者に対し、補聴器購入や電池購入に係る助成制度を導入する考えがあるか。

A. (知事) 難聴の子どもたちにとって補聴器は重要な支援機器である。既に支援をしている他県や浜田市の状況などもよく調べ、今後必要な検討をしてみたい。

Q. 島根大学の学生に対する県内就職支援の状況と、今後の取り組みを伺う。

A. (商工労働部長) 新たな取り組みとして県内企業に自己PRをする学生と企業との交流会、5日間連続の企業面接会を実施している。今年度は各経済団体への求人活動要請を一緒に行ったり、大学教員などを対象とした企業見学会や情報公開会を開催する予定。県の産業人材育成コーディネーターも活用して企業とのマッチングを強化していきたい。今後とも大学関係機関と協力しながらこれらの活動を充実させ、一人でも多くの学生に魅力的な企業を見つけて欲しい。

Q. 島根大学の学生を4年間だけ島根に来てもらう「お客さん」にしないための施策を伺う。

A. (知事) 魅力的な仕事を作っていくという事が最も重要。加えて在学中に地域の活動に参加される、島根県下を色々歩いてみる、例えば起業するとか、そこで農業をやる等といった経験のチャンスや、県民の方々と交流する機会を出来るだけ増やす努力が必要。県立大学においては先生方が地域の活動に参加されるような授業や課外活動をされているので、島大についてもそういう活動が出来ないかどうか研究してみたい。



質問の様子は島根県議会のホームページでもごらん頂けます。初質問でかなり緊張している様子が伝わるとお思います…

URLはこちら！
http://gikaiair.pref.shimane.lg.jp/vod_201106.html

岩田ひろたか

まっすぐ。レポート②

Q. 緊急雇用創出事業について国が期限延長等の措置をしなかった場合、県単独での事業継続は考えているのか。

A. (知事) 来年度以降については終了するという事になってはいるが、今般の大震災による景気への影響などで国に継続を求めている。まだどうなるかわからないが、県としては24年度以降の事業実施については国の対応、あるいは雇用情勢等ふまえて予算編成への過程で検討していく考え。

Q. 欧米の観光客の長期滞在を促すには、足立美術館や石見銀山遺跡など、古事記とは直接関係がないものも巻き込んだ観光ルートの提示が必要だと考えるが、所見を伺う。

A. (商工労働部長 島根観光ナビや日本政府観光局等の関係機関と連携した情報発信や、海外で発売される個人旅行者向けのガイドブック等への記事掲載を考えている。訪日後は、個人旅行者向けのフリーペーパーへの記事記載や、経済情報端末による情報提供が有効である。議員指摘の観光ルートはもとより、神話や伝統文化など魅力的なテーマを持ったルートを提示していく。欧米観光客の特徴に対応した様々な情報提示をし、島根の魅力を存分に味わっていただきたい。

まっすぐ。お知らせとお願い。まっすぐ。

一般質問の一部をQ&A形式でご報告させて頂きました。今後も定例議会終了後に、議会での質問・活動報告をこの「まっすぐ。レポート」を通して皆さんに報告します。報告しきれない事も多々ありますが、ご質問等お声掛け頂けたらお答えしますのでお気軽にお問い合わせください。

「まっすぐ。レポート」に関するご意見・ご感想↓
iwatahirotaka@ray.ocn.ne.jp
※お名前と連絡先をご明記下さい。
お問い合わせ先↓
TEL※24-2323

ドクターヘリ 運航開始

6月13日、島根県立中央病院でドクターヘリの運航開始式が行われました。ドクターヘリは出動要請から5分以内に飛び立ち、島根県内のもっとも遠い津和野・吉賀エリアでも約



運航にあたる医療スタッフ

40分で到着が可能。救急医療体制の充実に大きな期待がかかります。6月定例議会でも運用状況について報告があり、6月13日から30日までの間に出動回数は24回を数え、救急現場において効果を発揮しているとのこととす。今後も適切な運用がなされているかしっかりとチェックしてまいります。

震災ボランティア報告

5月下旬に5日間にわたり、岩手県山田町にボランティア活動に行つて参りました。実際に行つてまず感じることは、テレビや新聞で見ている以上にひどい状況であるということ。今回の活動は松江青年会議所メンバーとして瓦礫の撤去などに従事いたしました。震災から月日がたつにしがって被災地によって復興の進み具合に差が生まれていることと、しかし被災地の方々は「何としても町を再生させられるのだ」という強い気持ちを持って日々作業に当たっています。この現実と毎日向き合わなければならぬ心情を考えると心が痛みます。報道される国会の政治の状況について「とても私たち(被災者)の生活を一番に考えていると思えない。」といわれた事が心にのこっています。今回の震災を機に被害を受けなかった地域もしっかりとこの震災を共有していくことが大切だと改めて感じました。



上: 山田町のボランティアセンター
左: 瓦礫撤去中の岩田ひろたか

座敷わらしのコーナー☆



私は事務所にひっそりと存在する、**自称**、所長です(〃▽〃)無理やりこの一角を私のコーナーにしました。すみません。有権者になって早8年...初めて「議会傍聴」に行きました! そもそも県庁なんて初めて入ったのでは? 岩田さんの緊張がこっちまで伝わってきて、**ドキドキ**していましたが、岩田さんの晴れ舞台に満足して事務所へ帰りました。

事務所のお知らせをさせていただきます。+*:.+:+
5月、全くの空き家だったこの事務所と出会い、色々な方の協力を頂いて準備を進め、まだ棚など足りていない状態ですが細々と仕事をしております。**京橋川沿いの、とても雰囲気の良い立地**です。岩田事務所がどんな所なのか見ていただきたいので、お時間がありましたら喉を潤しに立ち寄ってくださると喜びます☆平日10:00~17:00の間、私が居ます。(万が一居なければ失礼なのでお電話頂けると更に喜びます。)ドリンクは各種取り揃えております! 看板はあげていませんが、そうめんも始めました☆

暑いですからね~ズ(ε`●) 遊びに来てください!
庄司 夏子